

若者と中小企業とのマッチング事業

ヤングジョブクリエイションおおた2015

開催報告書

公益財団法人大田区産業振興協会
情報・経営支援グループ
企画・広報チーム

1 開催概要に関して

イベント名称：ヤングジョブクリエイションおおた2015

開催日時：平成27年11月24日（火） 13時～17時

会場：大田区産業プラザ（PiO）4階コンベンションホール

開催目的：次世代を担う学生を中心とした若手人材へ大田区中小企業の魅力を発信し、
中長期的な視野での人材確保に繋げる。

変更点：開催会場の変更（1階大展示ホール→4階コンベンションホール）

参加企業数の変更（40社→30社）

一般求職者と大田区内中小企業を結びつけるマッチングイベントから、

企業の魅力を就職・卒業を次年度以降に控えた学生たちに伝える情報発信型イベントへ変更。

参加企業：30社（製造・加工業等14社、商業・サービス業等16社）

2 来場者誘致および来場者数に関して

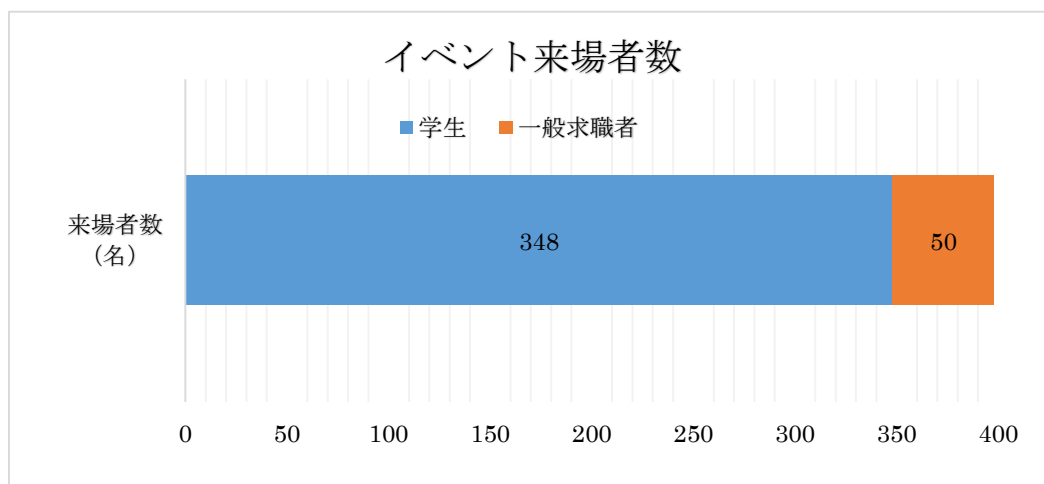
来場者誘致のための招待状を10,000部印刷した。学生の来場誘致に関しては、東京都立六郷工科
高校・日本工学院専門学校を中心に来場協力を依頼し、招待状を計1,300部配布した。また、大田区
内および近隣の大学・専門学校・高等学校にも招待状を送付し、広く来場者の誘致を行った。

（区内近郊の高等学校14校、区外高等専門学校3校、区内近郊の大学25校、職業訓練校3校に送付。）

一般求職者に関しては、公益財団法人東京しごとセンター・ハローワーク大森等の公的就労支援機関へ
招待状を送付した（計14機関）。さらに、電鉄・バスに広告を掲載し、当協会HPに開催案内の告知を公
開した。

イベント当日は、学生来場者数が348名、一般求職来場者が50名の計398名が来場した。

（昨年度は計558名が来場した。ただし、1階大展示ホールでの開催）。

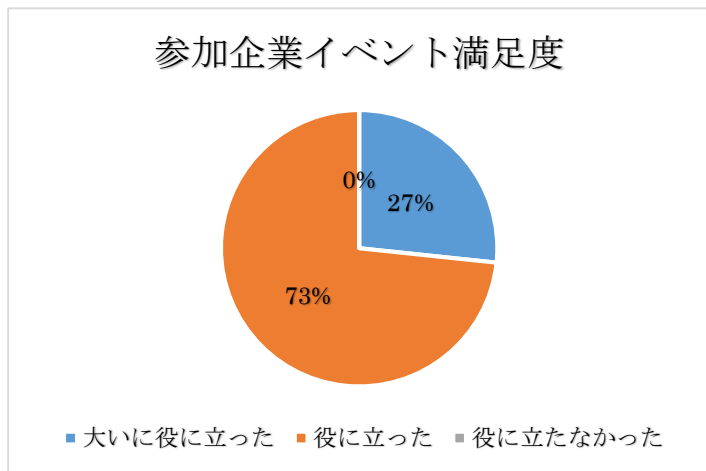


3 参加企業アンケート集計結果分析に関して（アンケート回収率100%）

① イベント満足度

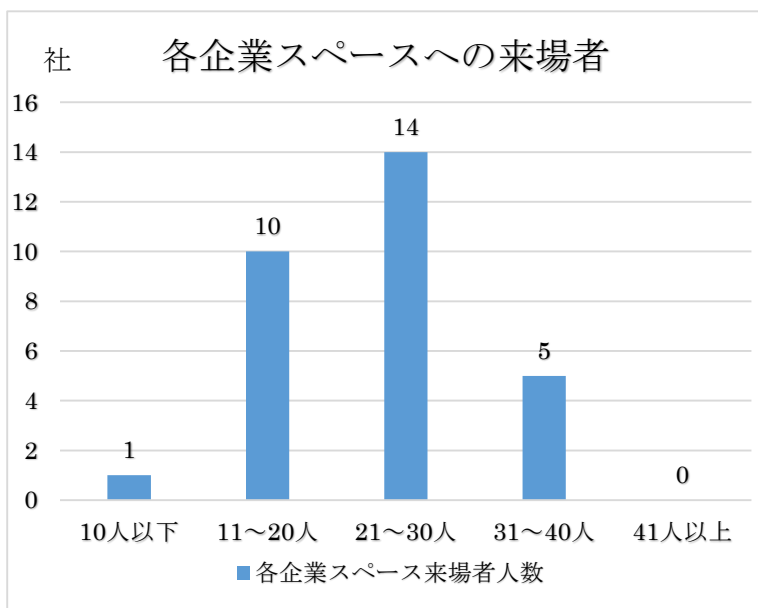
当イベントが企業魅力発信に「大いに役に立った」「役に立った」「役に立たなかった」の選択肢に、8社が「大いに役に立った」、22社が「役に立った」と回答した。

（昨年は4社が「大いに役に立った」、24社が「役に立った」、11社が「役に立たなかった」と回答。）



② 参加企業の各スペース来場者人数

イベント開催時に1社平均で約25名の来場者が企業スペースにて対話形式の会社説明等を受けた。



企業スペースの様子①



企業スペースの様子②

4 学生および一般求職者来場アンケート分析結果に関して

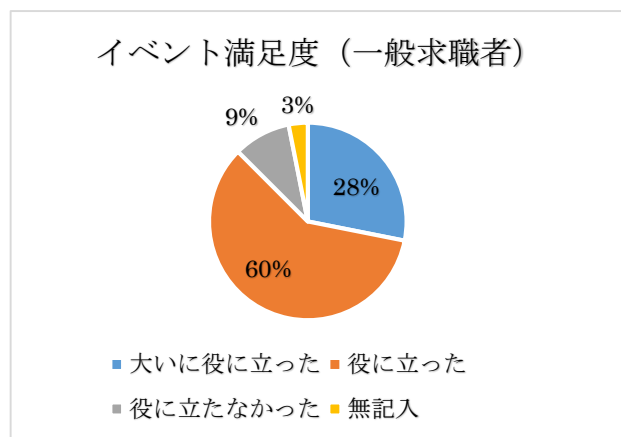
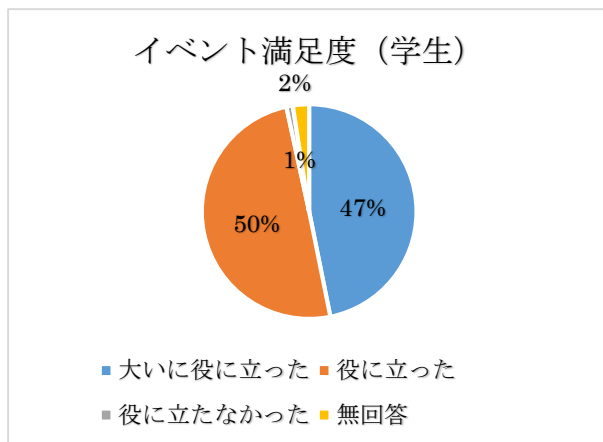
(学生：348名中205名が回答。アンケート回収率59%)

(一般求職者：50名中32名が回答。アンケート回収率64%)

※他イベントに比較すると高いアンケート回収率となっている。

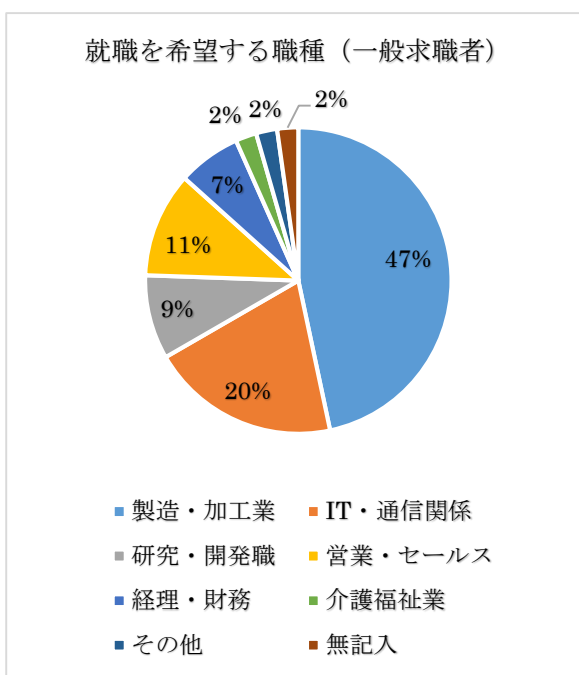
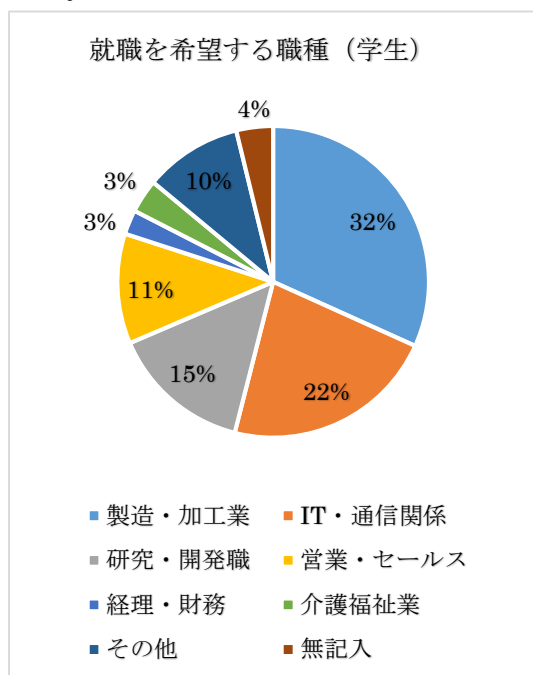
① イベント満足度

当イベントが企業情報収集に「大いに役に立った」、「役に立った」、「役に立たなかった」のアンケートに対して、学生はほぼ全て、一般求職者は約9割が「大いに役に立った」または「役に立った」回答した。「大いに役に立った」、「役に立った」と回答した中で、「大企業の説明より丁寧」、「自分の将来性が見えた」との意見があった。「役に立たなかった」との回答では、「技術職系が多い」との意見があった。



② 来場者が将来就職を希望している職種 (複数回答可)

下記のグラフから約3割の学生が製造・加工業種への就職を検討していることが判明した。次いでIT・通信関係が約2割となった。その他の職種に関しては、公務員・観光業・デザイン等の回答が目立った。また、「希望職種がまだ分からない」との回答も少なくなかった。理由としては、就職を次年度以降に控えた学生が来場者の大半であったため、将来の進路が明確に定まっていない学生による回答と思われる。



5 次回の当イベント参加意向に関して

30社中29社（昨年度は40社中28社）が次回も参加意向を示している。

今年度の参加企業は業者別内訳で製造・加工業が14社、商業・サービス業等が16社とバランスが取れた参加構成となった。

6 参加企業の感想に関して（抜粋）

- ・納得して帰られた方が多いと思う。
- ・高校2年生も多く来場してほしい。
- ・職業能力開発センターの方々が多く来られたので、先につながったような気がする。
- ・大学生がもっと多く来てほしい。
- ・13時30分から開始が適切な時間では？

上記は参加企業から寄せられたイベントの感想である。約9割の参加企業から好評のご意見を頂いた。一方でイベント開始時間については、上記のとおり同様の意見が散見された。理由としては、昼食および設営準備の時間を確保しづらいとのこと。また、学生を含めた来場者が13時20分過ぎに多く来場されることから、次年度以降はイベント開始時間を遅らせる対応が必要であると思われる。

7 担当者所感

当事業開始から9年が経過し、近年の雇用情勢や就職活動における「売り手市場」を鑑みて、イベントの大幅な刷新を行った。会場を1階大展示ホールから4階コンベンションホールに変更し、それに伴い参加企業数を40から30に改めた。イベントコンセプトも変更し、中長期的な視野での人材確保に繋げることをイベント目的に掲げた。よって、短期間での人材採用成果に結び付きにくいいため、参加企業から好評の声をいただけるか不安であったが、アンケート結果のとおり30社全てが「大いに役に立った」または「役に立った」との回答を得られた。また、協力学校のご担当者からは「来年度のヤングジョブクリエイションも当校の授業に組み込みたい」とのご意見をいただいた。以上のことから、参加企業および来場者にとって有意義なイベントであったと思われる。次年度以降も今回のイベントコンセプトを継承し、かつ上記アンケートから寄せられた改善点を反映させて、人材確保へと繋げていくことができる効果的なイベントになるよう取り組んでいきたい。



会場の様子①



会場の様子②